

Title	福澤諭吉関係文献総目録：福澤生前より昭和二十五年九月迄
Sub Title	Bibliography of documents referring to Fukuzawa
Author	昆野, 和七(Konno, Wahichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1950
Jtitle	史学 Vol.24, No.2/3 (1950. 10) ,p.273(405)- 308(440)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	福澤諭吉五十年忌記念
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0273">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0273</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 福澤諭吉關係文献總目錄

—福澤生前より昭和二十五年九月迄—

昆 野 和 七

「福澤先生生誕百年記念祭」のあつたのは昭和九年であるが、そのとき、三田史學會では「史學」(福澤研究)特輯號を發行したが、その特輯號の中に、「福澤先生關係文献目錄稿」を附録としたので、今回福澤諭吉五十年忌を記念した「史學」特輯號にも是非文献目錄を入れ度いといふので、今度は私がその制作の任に當つた。前回の文献目錄は文學部の今宮新教授の制作に掛るものであるが、當時私は未だ學生の身であつて資料の涉獵も淺く、到底役にも立たず、只教授を中心とする數人の協力者の苦心の様子を仰ぎ見るのみであつたけれども、その福澤文献蒐集の苦心を最も知る一人として、昭和九年の文献目錄に對する敬意と愛着とは人一倍感じて居るものと敢えて自負するものである。當時福澤研究は未だ本格化して居らず、關係文献は只遇目するものだけが、利用されているに過ぎず、そういう時代に今宮教授の成果がどれだけ後の研究家の爲め便宜を與えたかは測り知れないものがあると思う。私は今宮教授の文献目錄が發表されて間もなく、教授の驥尾に附して、此の後を續けて行くことを決心した。一は自身の研究のため、一は諸氏の問合せに應ずるためであつたが、教授の目錄を中心にして明治年間大正、昭和と次第に文献メモを増やして行つた。爾來十

五年の年月が経過した。文献目録の制作は地味な仕事で絶えず繼續して行くことは仲々出来難い。私は度々怠慢となつて、つぎつぎに刊行されて行く福澤文献のメモをとることも怠り、切角人の教えて呉れるものさえも聞き流すことも再三に止まらなかつた。今日考えて見て誠に情けないことであるが、そういう時に私を叱咤激勵した先輩があつた。(少くとも私にはそういう風に感じられた) 私はその度毎に怠慢の心に鞭打つてメモを取りつゞけた。その先輩とは福澤研究の權威富田正文氏である。必ずしも完全とは云えない此の總目録が福澤を論じようとする人々に何らか益することがあるならば私にとつては望外の幸いであるが、同時に亦、此の目録がこゝまで出来上つたのは、正しく今宮・富田兩氏の學恩に依るものと感慨を新たにするものである。

今回の目録では福澤研究の變遷が判るように、五期に分けて見た。細目の分類は仲々困難なので大別することにした。此の目録に漏れているものに一寸觸れると、特に福澤生前の項では福澤評論或は福澤の論敵の論文として宜しいものと凡そ見當はついても、實物を見ることが出来ないもので省いものが數十にも上つている。福澤歿後では福澤研究には重要でないものと見做して省いたもの數百に上る。亦、不注意のため見落しているものも相當あるかも知れない。之等は漸次擴充して行くつもりである。此の目録を見ればすぐ解るように、戦後の文献だけに發行所名を記して置いたが、之は戦後のものを手に入れようとする人の爲めに備えたつもりである。最後に此の草稿を纏めるため特記しなければならぬ協力者があつた。一人は文學部の長友河北展生氏である。此の目録の文献メモは前記したように、十五年間も掛つたものであつたので、メモの記入の仕方が、その時々と思付きで書いて置いたので、まちまちであつた。いよいよ本誌に發表するために整理した見たところ、不備の點が多いので、もう一度實物に當つて見なければならなかつた。それが隨

分多い数になつた。その照合に協力して下さつたのが、河北氏であつた。短時日の間で河北氏の熱情的努力に依つて整備されたものが非常な数に上つた。尙ほ又、同氏は明治年間の文献若干も補充された。もう一人は通信教育部分室の畏友土橋俊一氏で、「戦後の文献」の相当部分は同氏の示教によるものである。茲に特記して諸氏の厚情に對し厚く感謝の意を表する次第である。

(一) 明治年間(生前之部)

復刻本

時事新報社編「福澤全集」(全五卷) (明三十一、一一五)  
慶應義塾編「修業立志編」 (明三十一、四)

單行本

C. Lanman, Leading of Japan, Boston, 1883.  
(Fukuzawa Yukichi) (明16)

焉用氏著「學商福澤諭吉」 (明三三、六)

W. G. Aston, Fukuzawa Yukichi, Author and  
Schoolmaster (Transaction and proceeding of the  
Japan society, Vol. V. Tenth section, London. (1900  
—1901) (明33—34)

C. Kadomo, Supplemental paper on the Same  
(Transaction and proceeding of the Japan Society.  
Vol. V. Tenth section. London. (1900—1901)  
(明33—34)

其他(福澤に言及したるもの)

津田權平編「明治立志編」(福澤諭吉君傳) (明十三、一)

野崎城雄著「名士品評」(初編)(福澤諭吉君)

(明十四、二)

安井乙熊編輯「明治英名百人首」 (明十四、四)

木村文造編「明治英名」(福澤諭吉) (明十六、五)

高瀬松吉編「明治英名傳」(文士傳福澤諭吉)

(明十六、八)

谷俊三編「現今英名百首」 (明十八、四)

小林雄七郎著「薩長土肥」 (明二十二、六)

朝野新聞諸先生記「朝野人物評」 (福澤諭吉氏)

(明二十三、三)

廣池千九郎著「中澤歴史」

(明二四、十二)

徳富猪一郎著「人物管見」 (明治の二先生福澤諭吉と新島

襄・文學者としての福澤諭吉)

(明二五、五)

西村天外道人著「偉業龜鑑日本立志編」

(福澤諭吉傳)

(明二七、三)

手塚猛昌編「慶應義塾の學風」 (福澤先生の感化力)

(明二七、五)

鳥谷部春汀著「明治人物評論」 (新聞記者としての福澤諭

吉)

(明三十一、十一)

### 明六社同人の論争 (一)

學者の職分を論ず (福澤諭吉「學問のすゝめ」四編)

(明七、一)

右に對する論駁左の如し

福澤先生の論に答ふ

加藤弘之

學者職分論の評

森 有禮

學者職分論の評

津田眞道

非學者職分論

西 周

(以上明六雜誌、第二號、明七、二)

### 明六社同人の論争 (二)

内地旅行 西 周 (明六雜誌第二十三號)

(明七、十二)

内地旅行論 津田眞道 (明六雜誌第二十四號)

(明七、十二)

右に對し福澤の駁論左の如し

内地旅行西先生の説を駁す 福澤諭吉 (明六雜誌、第

二十六號)

(明八、一)

外國人の内地雜居許可す可らざるの論 福澤諭吉

(民間雜誌第六編)

(明八、一)

### 「藩閥寡人政府論」に對する駁論關係

藩閥寡人政府論 (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、五、一七―六、十七)

讀み時事新報藩閥寡人政府論 (江湖新報)

(明十五、六、二)

何れも困る (漫言) (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、六、七)

讀時事新報 (東京横濱毎日新聞) (明十五、六、六一―八)

時事新報發行解停 (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、六、十三)

讀時事新報藩閥寡人政府論第十一 (東京横濱毎日新聞)

(明十五、六、二〇、二十一)

讀時事新報藩閥寡人政府論第十二 (東京横濱毎日新聞)

(明十五、六、二十四、二十五)

(参考) 藩閥寡人政府論第十二公判始末 (時事新報)

(明十五、九、二六一一〇、七)

### 帝政黨をめぐる論争

天下憂ふ可きもの二あり (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十一、十二—十三)

天下憂フベキモノ果シテ勤王黨ナル乎 (福地源一郎)

(東京日々新聞) (明十五、十一、十四—十八)

天下自省す可きものあり (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十一、二十五—二十九)

差料の刀を以て自殺する者は誰ぞ (漫言) (福澤諭吉)

(時事新報) (明十五、十一、二八)

去年の夢舊連官 (漫言) (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十一、三〇)

天下自省スベキ者アリ (福地源一郎) (東京日々新聞)

(明十五、十二、一一—三)

尙自省せざる者あり (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十二、六)

福澤諭吉關係文献總目錄 (昆野和七)

尙ホ自省セザル者アリ (福地源一郎) (東京日々新聞)

(明十五、十二、七)

若殿様の御相撲 (漫言) (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十二、八)

主義の食傷 (漫言) (福澤諭吉) (時事新報)

(明十五、十二、十一)

### 兌換券をめぐる論争

紙幣引換を急ぐべし (福澤諭吉) (時事新報)

(明十六、六、十六、十九)

外債ヲ起シテ急ニ紙幣ヲ交換スルノ可否 (東京日々新聞)

(明十六、六、二〇—二十三)

外債を起して急に紙幣を兌換するの可否に付東京日

々新聞の惑を解く (福澤諭吉) (時事新報)

(明十六、六、二十七—三〇)

### 國權皇張論をめぐる論争

外交の思想養成せざるべからず (福澤諭吉) (時事新報)

(明十六、七、十九)

支那行を奨励すべし (福澤諭吉) (時事新報)

(明十六、七、二〇)

(四〇九) 二七七

讀時事新報(朝野新聞) (明十六、七、二四、二五)  
朝野新聞に答ふ(福澤諭吉) (時事新報)

(明十六、七、二六)

世態論時事新報に呈す(筆名、五九樓仙巒奇送)(福澤諭吉) (時事新報) (明十六、七、二八、三〇、三十一)  
再讀時事新報(朝野新聞) (明十六、八、一、二、四)

「修身要領」をめぐる論争

修身要領(本文發表)(慶應義塾學報) (明三三、三)

修身要領の由來 小幡篤次郎(慶應義塾學報)

(明三三、三) (交詢雜誌五六〇、五月)

修身要領の略解 鎌田榮吉(慶應義塾學報)

(明三三、三)

修身要領の發表について 門野幾之進(慶應義塾學報)

(明三三、三)

福澤翁の「修身要領」を読む 綱島榮一郎(教育學術界一ノ六)

(明三三、四)

道德主義としての獨立自尊 井上哲次郎(太陽六ノ一〇)

(明三三、五)

福澤翁の修身要領を評す 井上哲次郎(教育學術界一ノ七)

(明三三、五)

修身要領に對する井上哲次郎氏の批評を読む 林毅陸

(慶應義塾學報)

獨立自尊主義の道德を論ず 井上哲次郎(哲學雜誌一五ノ一六一)

(明三三、六)

文學博士の非獨立自尊論 氣賀定吉(慶應義塾學報)

(明三三、六)

「修身要領」の巡回演説 高山樗牛

(明三三、六)

三田翁の所謂道德 高山樗牛

(明三三、六)

新聞雜誌評論

福澤先生著通貨論を読む 田口卯吉(東京經濟雜誌)

(明十二、四)

福澤先生著民間經濟錄第二編を読む 田口卯吉(東京經濟雜誌)

(明十三、九)

福澤先生著時事小言を読む 田口卯吉(東京經濟雜誌)

(明十四、一〇)

福澤氏の耶蘇教論を駁す(六合雜誌)

(明十五、二)

新聞扯裂(明治日報)

(明十五、九、一)

一貴顯三田ノ老爺ノ爲ニ八ヲ喰フ(扶桑新誌)

(明十六、二)

福澤學科の改正(明治日報)

右に對する福澤の答、「又も喧嘩の買出しに來たり」(漫言)(福澤諭吉) (時事新報) (明十六、二、十三)

時事新報の兵法に感ふ(朝野新聞) (明十六、四)

之は福澤諭吉の「全國兵は字義の如く全國なるべし」(時事新報) (明十六、四、四一五)に對するもので、福澤は

更に漫言「ソリヤ又來たぞ」(時事新報) (明十六、四、十一)で答ふ

私立大學の事を論じて福澤先生と世の有志者に告ぐ

土屋寛(日本人二十三號) (明二十二、三)

福澤翁の政治運動 田口卯吉(東京經濟雜誌)

(明二七、二)

福澤翁の特性 田口卯吉(東京經濟雜誌)

(明二七、四)

福翁の宇宙觀 MK生(東京經濟雜誌)

(明二九、三)

福澤先生 MK生(太陽二ノ一)

(明二九、九)

福澤翁と氣品 MK生(東京經濟雜誌)

(明二九、十一)

福澤諭吉氏 MK生(太陽四ノ十七)

(明三〇、八)

「福翁百話」 MK生(太陽四ノ十七)

(明三〇、八)

「福翁百話」 MK生(哲學雜誌)

(明三〇、九)

福澤諭吉氏 高山樗牛(太陽)

(明三〇、九)

「福澤全集」 MK生(太陽三ノ二十二)

(明三〇、一〇)

「福澤全集緒言」 MK生(進歩黨々報)

(明三十一、一)

文明主義の政論 菊池武徳(慶應義塾學報)

(明三十一、五)

福澤諭吉氏 菊池武徳(太陽四ノ十三)

(明三十一、六)

福澤諭吉 奥村信太郎(太陽五ノ十三、明治十二傑)

(明三十二、六)

板垣伯と福澤氏 高山樗牛(太陽)

(明三三、六)

「瘠我慢の説」を紹介す 井上哲次郎(日本人一二九)

(明三十三、十二)

福澤先生の人生二面觀 綱島榮一郎(教育學術界)

(明三四、一)

「瘠我慢の説」に就き 井上哲次郎(日本人一三一)

(明三四、一)

錦繪、筆蹟、評判記類

東京日々新聞八百六十號附録(楠公權助論)

(蕙齋芳幾筆)

東京無双當以長揃(豊原國周筆)

(明九、七)

古今英雄一覽(著畫 早川徳之助)

(明九、七)

廿三年の未來記(東洋野訥戲述、尾形月耕畫)

(明十六、五)

朝野名士手蹟(國民新聞第五百三十九號附録)

(明十六、五)

東京諸先生高名方獨案内(英蘭齋五翁)

(明治三千年秋)

- 諸先生穴さがし見立 (宮田宇兵衛編集出版) (明十一、一〇)
- 名譽巷競 (竹村貞治郎編輯出版) (明一三、八)
- 東京現今文雅一覽 (山本大助編輯) (明十四、四)
- 全國書畫 (東花堂五翁編輯) (明十四、七)
- 日本高名三幅對 (大橋左一郎編輯出版) (明十四、一〇)
- 大日本名家演說人名錄 (三木平三郎編輯出版) (明十五、二)
- 官民英名競 (榮文堂藏) (明十五、三)
- 名家四方一覽 (竹村貞治郎編輯出版) (明十七)
- 皇國書畫名家一覽 (開運堂 竹村貞治郎編輯出版) (明十八、二)
- 東京名家名所見立 (開運堂 竹村貞治郎編輯出版) (明十九夏)
- 皇國書畫名譽一覽 (開運堂 竹村貞治郎出版) (明二〇、秋)
- 東京名家名所見立一覽 (開運堂 竹村貞治郎出版) (明廿一歲)
- 東京名家八勝流行競 (竹村貞治郎出版) (明二一秋)
- 官公私立東京諸學校一覽 (兒玉又七印刷發行) (明廿二改)
- 正新版) (明廿二、一)
- 東京名家專門競 (開運堂 竹村貞治郎出版) (明二二)
- 東京名家七福人 (開運堂 竹村貞治郎出版) (明二二)
- 東京鼻相撲天狗番附 (明日新聞第三號附錄) (明二六、一)

(二) 明治年間 (歿後之部) (自明治三十四年至明治四十五年)

單行本

- A. Miyamori, A Life of Mr. Fukuzawa. Tokyo 1902 (明35)
- C. Kadono, Fukuzawa, a sketch of his work. London. 1902 (明35)
- 土屋元作著「余が見たる福澤先生」 (明三六、二)
- W. Clement, Handbook of Modern Japan. Chicago 1905 (明38)
- 信太歌之助著「福澤先生が瘠我慢の説を駁す」 (明四〇、六)
- 高橋淡水著「福澤諭吉言行録」 (明四二)
- 三田商業研究會編「福翁訓話」 (明四二、五)
- 土屋元作著「新學の先驅」(蘭學の殿英學の先、福澤諭吉) (明四五、二)
- 時事新報社「福澤先生著帝室論・尊皇論」 (明四四、二)
- 單行本 (福澤論のあるもの)
- 竹越與三郎著「萍聚絮散記」 (福澤先生) (明三五、六)

- 岡本經朝著「近世百物がたり」(福澤先生の骨折、福澤先生の湯屋、局外の福澤先生と當局の福澤先生、慶應義塾の大久保彦左衛門) (明三六、九)
- 高橋淡水著「時代文學史」(福澤諭吉とその文學、福翁の抱持せる理想) (明三九、八)
- 全國教育者大集會編「帝國六大教育家」(故福澤諭吉君について) (明四〇、一〇)
- 早稻田大學出版部編「大隈伯演說集」(明治文明史上に於ける福澤翁) (明四〇、一〇)
- 大隈重信撰「開國五十年史」上卷(民間教育—福澤諭吉、女子教育—福澤氏の女子論)下卷(明治文學—福澤諭吉氏、基督教—福澤諭吉の嘲罵) (明四〇、一〇)
- 藤田長江編「福澤翁言行録」(明四一、三)
- 山路愛山著「現代全權史」(政商論附福澤諭吉) (明四一、五)
- 戸川秋骨著「時代私觀」(福澤先生) (明四一、一一)
- 江森泰吉編「大隈伯百話」(福澤翁と時事新報) (明四二、六)
- 鳥谷部春汀著「春汀全集」(一) (福澤諭吉翁) (明四二、八)
- 藤原喜代藏著「明治教育思想史」(福澤諭吉の啓蒙、破壞) (明四二、一一)

福澤諭吉關係文獻總目錄 (昆野和七)

- 三宅雄次郎著「偉人の跡」(福澤諭吉氏、伊藤氏と福澤氏) (明四三、四)
- 林董著「後は昔の記」(學生派遣と福澤翁) (明四三、一二)

雜誌新聞評論

福澤先生哀悼録

岡本貞休編(慶應義塾學報三九) (明三四、五)

吊詞(小幡篤次郎)、病中記事、葬儀記事、追悼會記事  
追吊演說

(英領事ホール、神戸クロニクル主筆ヤング) (神戸の哀悼會)、福澤先生を吊ふの辭(小川武平) (長沼遙葬會)

祭文(向軍治)演說(デニング) (仙台の追吊會) 他四四

吊詞吊文 衆議員の決議、立憲政友會、帝國教育會、祭福澤先生文(長與專齊、木村毅(介舟) 他二五)

追悼詩歌

新聞吊詞 嗚呼彼れ惜む可きなり(愛山生) (國民新聞)、舊友福澤諭吉君を哭す(福地源一郎) (日出國新聞)、他一九紙

逸話、故福澤翁(松山棟庵氏の談) (報知新聞)、故福澤翁(報知新聞)、先生と三優(毎日新聞)、社會新話(大阪毎日新聞)、一鼎百珍(東京朝日新聞)、福澤翁と勝伯(大阪

毎日新聞)、故福翁と十文字信介氏(讀賣新聞)、茶ばなし(讀賣新聞)、石黒況齋翁の福翁談(東京朝日新聞)、福澤先生の逸事(神戸新聞)、先生の逸話(馬關毎日新聞)、福翁の一喝(大阪毎日新聞)

評論 福澤諭吉と大隈重信(雪嶺)(日本)、福澤諭吉(過渡日本の要求、如何に時代の要求に應ずべき資格ありし乎、如何に時代の要求に應じたりしか)(人民)、故西郷南洲翁と故福澤翁(飯島生)(朝野新聞) 他十五

雜誌吊詞 福澤先生を吊ふ辭(北里柴三郎)(細菌學雜誌)、福澤翁逝けり(田口卯吉)(東京經濟雜誌)、福澤諭吉を吊す(大町桂月)(太陽)、國家と福澤翁(笹川潔) 他四三

誌

嗚呼福澤先生 野崎宏太郎(慶應義塾學報三六)

(明三四、二)

舊友福澤諭吉君を哭す 福澤源一郎(慶應義塾學報三六)

(明三四、二)

吊詞 小幡篤次郎(慶應義塾學報三六)

(明三四、二)

福澤先生を吊ふ 鎌田榮吉(慶應義塾學報三六)

(明三四、二)

敗將一滴之血涙 岳南子(日本人一三三)

(明三四、二)

偉人の死去 岳南子(日本人一三三)

(明三四、二)

福澤氏の瘠我慢説(太陽七の二)

(明三四、二)

福澤翁逝けり 田口卯吉(東京經濟雜誌四三の一〇六七)

(明三四、二)

福澤先生を吊ふ 戸田芳助(交詢雜誌五六九)

(明三四、二)

國家と福澤翁 笹川潔(日本人一三四)

(明三四、三)

福澤諭吉を吊す 大町桂月(太陽七の三)

(明三四、三)

福澤翁の長逝 大町桂月(哲學雜誌一六の一六九)

(明三四、三)

三田の教師 大町桂月(教育學術界二の五)

(明三四、三)

福澤先生「哀悼録」 大町桂月(慶應義塾學報三九臨時増刊)

(明三四、四)

學者は社會の奴雁なり 牛中山人(東京經濟新報一九二)

(明三四、四)

福澤先生 鎌田榮吉(慶應義塾學報四〇)

(明三四、五)

學者と實業家の同心協力 福澤一太郎(慶應義塾學報六〇)

(明三六、一)

日本の文明と福澤先生 大隈重信(慶應義塾學報八四)

(明三七、一一)

大隈伯の福澤翁追懷 大隈重信(史學界七の二)

(明三八、二)

慶應義塾と名古屋 矢田續(慶應義塾學報九四)

(明三八、九)

福澤と福地 牛中山人（東洋經濟新報三八〇）

（明三九、六）

明治時代の思潮 海老名彈正（慶應義塾學報一〇六）

（明三九、七）

福澤先生の精神と事業 下田次郎（教育學術界一四の一）

（明三九、一〇）

福澤先生と儒教

菅綠蔭（慶應義塾學報一一四）

（明四〇、二）

福澤先生と高德

森村市左衛門（慶應義塾學報一一五）

（明四〇、三）

今昔雑談

濱野定四郎（慶應義塾學報一一八）

（明四〇、六）

六大教育家追頌式

濱野定四郎（太陽一三の九増刊號）

（明四〇、六）

明治故人評論 三（中央公論二二の七、二二〇）

（明四〇、七）

予の知れる福澤先生 竹越三又、福澤諭吉氏 徳富蘇峰

福澤雪池翁 三宅雄次郎、破格論 愛山生

福澤先生 戸川秋骨、福澤諭吉翁 池邊吉太郎

福澤翁の譬喩 福本日南、福澤先生 鎌田榮吉

福澤先生の舊住宅 入澤自然（慶應義塾學報一三〇）

（明四一、五）

福澤先生と我輩の處世主義 大隈重信（實業之世界五の一）

（明四一、五）

我輩の處世主義、余の見たる福澤諭吉 石黒忠愼（實業

之世界五の二）

（明四一、六）

福澤先生と宗教心 向軍治（開拓者三の七）

（明四一、七）

終生忘る能はざる思師福澤先生の訓戒 井上角五郎

（實業之世界六の三）（明四二、三）

慶應義塾出身の諸名士が今日あるを得たる福澤先生の

教訓（其一、其二）（實業之世界六の一、二）

（明四二、一、二）

今若し福澤先生が在世ならば、こんな事を言はれるだ

らう 大隈重信（實業之世界五の四）（明四一、八）

今若し父が在世ならば、如何なる言行を爲すか 福澤

一太郎（實業之世界五の四）（明四一、八）

思想界の變遷 大隈重信（太陽一五の三明治史第七編文藝

史）（明四二、二）

獨立自尊は仁義なり 田中米作（慶應義塾學報一四二）

（明四二、五）

福翁訓話を讀む 宮田暢（實業之世界六の七）（明四二、七）

福澤先生と明治最初の圖書館 田中一貞（慶應義塾學報

一四五）（明四二、八）

先輩青年品行論、福澤氏の一夫一婦論 三宅雄次郎

(實業之世界六の九) (明四二、九)

福澤先生の常識と我輩の常識 大隈重信 (實業之世界六の一一)

(明四二、一〇)

福澤先生を追懐す 鎌田榮吉 (慶應義塾學報一五一)

(明四三、二)

明治の救世主福澤先生十回忌に際して故人を追想す

後藤新平 (實業之世界七の四) (明四三、二)

今予が泌々と感ずる福澤先生の三大教訓 森村市左

衛門 (實業之世界七の七) (明四三、四)

朝鮮の合邦に就いて 井上角五郎 (雄辯一の九)

(明四三、一〇)

福澤先生と朝鮮問題 井上角五郎 (慶應義塾學報一六一)

(明四三、一二)

逝後十一年福澤先生追懐談 鎌田榮吉 (慶應義塾學報一六三)

(明四四、二)

出世の秘訣、福澤先生と大隈伯 福澤桃介 (實業之世界八の四)

(明四四、二)

慶應義塾に關する卑見 鈴木梅四郎 (慶應義塾學報一六五、一六六)

(明四四、四、五)

寒心すべき福澤先生の豫言實現せられたり 莊田平五

郎 (實業之世界八の九) (明四四、五)

時代の要求する人物 桂太郎 (慶應義塾學報一六八)

(明四四、七)

一布衣福澤諭吉 河岡潮風 (雄辯二の七) (明四四、七)

福澤先生と手紙の書き方 井上角五郎 (雄辯二の八)

(明四四、八)

福澤先生の金錢論 伊澤温山 (慶應義塾商工會々報三)

(明四四、一〇)

福澤諭吉 伊藤痴遊 (雄辯二の一〇) (明四四、一〇)

學生の獨立自尊 山名次郎 (慶應義塾學報一七四)

(明四五、一)

福澤先生を悼む 島田三郎 (中等國語讀本第八)

(明四五、一)

福澤先生 田中萃一郎 (新日本二の四) (明四五、四)

福澤先生豫言適中の實例 山田松三郎 (實業之世界九の九)

(明四五、四)

私學の發展 鎌田榮吉 (慶應義塾學報一七九) (明四五、六)

福澤諭吉先生 鎌田榮吉 (太陽一八の九) (明四五、六)

福澤諭吉論(一) (九) 若宮卯之助 (實業之世界)

福澤先生と拜金宗 (上・下) (九の一、一二)

(明四五、六、七)

改革者としての福澤先生 (上下) (九の一八、一九)

(大元、九、一〇)

教育家としての福澤先生（上下）（九の二二）

（大元、一一）

福澤先生と慶應義塾（上下）（一〇の十二、十四）

（大二、六）

（三）大正及昭和初期之部（自大正元年至昭和六年）

復刻本

福澤全集十卷（時事新報社刊）（六十四・二十一・六十五・九）

時事新報社編「民間經濟録」（大六、九）

富田貢編「福翁漫言」（大六、一）

三星社書店編「獨立のすゝめ」（大七、三）

弘道館藏版「獨立のすゝめ」（大一一、一一）

小泉信三編「福澤撰集」（岩波文庫）（昭三、一）

雜賀良三郎編「故福澤諭吉翁尊王論」（昭四、一）

時事新報社編「日本皇室論」（昭五、八）

單行本

増島信吉著「福澤先生と小川武平翁」（大元、十二）

高橋淡水著「福澤諭言行録」（大元、八）

田中王堂著「福澤諭吉」（大四、十二）

鈴木梅四郎著「修養實訓 福澤先生の手紙」（大七、六）

福澤諭吉關係文献總目錄（昆野和七）

三木作次郎編「年譜福澤先生小傳並逸話」（大十二、六）

三木作次郎編「偉人の面影」（大十三、十二）

慶應義塾養眞會編「福澤先生に關する講演集第一冊」（大十五、五）

太田正孝著「町人諭吉」（昭二、五）

三木作次郎編「福澤先生の舊邸」（昭二、七）

三木作次郎編「福澤先生の逸話」（昭三、十一）

小山完吾述「講演二題」（教養ある人となれ、書生の觀た福澤先生）（昭四、二）

三木作次郎編「福澤先生の餘影」（昭四、二）

三木作次郎編「福澤先生の金言」（昭四、三）

土屋元作著「戯曲福澤先生」（昭四、七）

福澤先生研究會編「我が福澤先生」（昭六、四）

宇野浩二著「福澤諭吉」（少年少女教育講談全集第九卷）（昭六、七）

單行本（福澤論のあるもの）

高橋淡水著「列傳體明治史日本新英傑傳」（福澤諭吉）（大元、八）

石川半山著「烏飛兎走録」（福澤先生の教訓）（大元、十一）

鬼面居士著「おきやく論 一名當世紳士論」（福澤先生）（四一七）二八五

をして在世ならしめば)

(大二、一)

田中王堂著「吾が非哲學」(評論家としての福澤諭吉)

(大ニ、十二)

岡本貞休著「恩師先輩訓話隨録」

(大ニ、三)

朝比奈知泉著「明治功臣録」(天ノ巻 福澤諭吉翁)

(大四、四)

小林堅三編「愛山遺稿」(福翁百話を讀む、大常識福澤翁

の逝去)

(大四、六)

藤島宇太編「明治昭代史」(明治の人物福澤諭吉君)

(大四、十一)

大町桂月著「十人十色名物男」(偉人福澤諭吉翁・翁の瘦

我慢の説を駁す、翁と大隈伯)

(大五、三)

鹿子木員信著「戰鬪的人世觀」(福澤精神の根本問題)

(大六、二)

豐富伊太郎著「三田つ子になるまで」

(大九、一)

大分縣編「大分縣勤王家小傳」附大分縣偉人小傳

(大九、一〇)

鈴木梅四郎著「學問及び學者」(荻生徂來と福澤先生

福澤先生の功績の最も著大なるもの、蓮如上人と福澤先生

再び福澤先生を想ふ、福澤先生の觀察、福澤先生の意見)

(大一〇、十一)

松枝保二編「大隈侯昔日譚」(十四年の政變と福澤諭吉)

矢田績手記「懷舊慢話」

(大十一、三)

犬養毅著「木堂談叢」(福澤先生と拜金宗)

尾崎行雄著「罌堂漫筆」(福澤先生その他)

大日本文明協會編「明治文化發祥記念誌」(新日本建設

の基礎を固められし福澤先生)

(大十三、十二)

尾佐竹猛著「維新前後に於ける立憲思想」

(大十四、一二)

太田原在文著「十大先覺記者傳」(福澤諭吉)

(大十五、三)

菊池寛編「日本偉人傳」(小學生全集三十七卷)(獨立自

尊居士福澤諭吉)

(昭二、十二)

波多野承五郎著「梟の目」(福澤翁の道德觀)

(昭二、一)

朝比奈和泉文集刊行會編「朝比奈知泉文集」(福澤翁の

修身要領、修身教育に關する暴論)

(昭二、四)

幸徳秋水著「幸徳秋水文集」(改造文庫)(修身要領を讀

む、平凡の巨人)

(昭四、三)

苦宮卯之助編「森村翁言行録」(福澤先生の感化、福澤先

生との初對面)

(昭四、八)

本間久雄著「婦人問題十講」

(昭四、一〇)

石山賢吉編「伊藤欽亮論集」下 (福澤大先生の原稿、福

澤先生「豪傑」の折紙

(昭五、三)

弓削俊澄述「禍福のわかれ路」(佛教の現實化と福澤翁)

(昭五、三)

澁澤榮一全集第三卷(福澤先生及獨立自尊論)

(昭五、九)

大阪毎日新聞社編「二十一大先覺記者傳」

(昭五、九)

井上哲次郎著「明治の哲學回想録」(哲學講座第二卷)

(昭六、四)

(福澤諭吉)

### 雜誌評論(學術的のもの)

福澤諭吉(民權史上の十二名士) 田中萃一郎(新日本三  
の四) (大ニ、四)

評論家としての福澤諭吉 田中王堂(中央公論二八の一〇、  
三一〇) (大ニ、一〇)

明治時代の思想界 清原貞雄(歴史と地理四の六)

(大八、十二)

解放特大號(明治文化の研究)

(大一〇、一〇)

明治時代に於ける社會思想

新居 格

明治思想史

清原 貞雄

「我」の發見の開展史(福澤の客觀主義) 土田杏村

自由民權(福澤諭吉と加藤弘之)

石川三四郎

新聞雜誌の發達(偉人福澤諭吉)

千葉龜雄

福澤諭吉關係文獻總目錄(昆野和七)

維新當時に於ける國際協調主義 吉野作造(中央公論三  
七の一〇)

(大十一、九)

福澤翁の人生觀 前田慧雲(弘道三六六)

福澤先生に就いて 石河幹明(三田評論)

福澤先生の史蹟を訪ねて 増田廉吉(三田評論)

福澤先生の日本婦人論 永井亨(社會政策時報五八)

セルフレスペクトの解 草澤學人(我觀改卷二)

福澤先生と生命保險 河部章藏(慶應義塾商業學校校友會  
々報)

福澤諭吉の漢文と雅號 雨花子(尾佐竹猛)

福澤先生と洋服 吉野作造(新舊時代一の八)

福澤全集刊行に就いて 小泉信三(財政經濟時報十二の十  
一)

同時代觀 三宅雲嶺(我觀二七)

彌太郎の幕僚と福澤先生 白柳秀湖(實業之世界二三の  
一)

大隈三菱と三田派を提けて起つ(福澤翁と大隈重信)

(大十五、一)

(大十四、一〇)

(大十四、十一)

(大十五、一)

(大十五、一)

(大十五、一)

(大十五、一)

(大十五、一)

(四一九) 二八七

白柳秀湖(實業之世界二三の五)(大十五、五)

福澤先生のスパイ觀 白柳秀湖(新舊時代二の二)

(大十五、五)

福澤諭吉と西周 長谷川如是閑(新舊時代二の四、五合併

號)(大十五、八)

福澤諭吉と新聞 小野秀雄(新舊時代二の八)

(大十五、十一)

福澤先生の雅號に就いて 芳陵生(新舊時代二の八)

(大十五、十一)

明治大正文學の社會的考察(福澤諭吉とブルジョア、リベ

ラリズム) 木村毅(文章俱樂部十二の一)(昭二、一)

福澤先生より大隈侯へ 横山雅男(三田評論)(昭二、一)

福澤諭吉の文明論 小野清一郎(經濟往來二の四)

(昭二、四)

福澤諭吉翁の京都學校記 柳人生(明治文化研究三の四)

(昭二、四)

福澤、田口、天野と明治の經濟學 福田徳三(我等九の

六)(昭二、六)

福澤翁の前半生 霧滿舎樓(東洋三〇の六)(昭二、六)

福澤諭吉先生の漢字制限論 長尾藻城(醫文學)

(昭二、七)

福澤先生の雅號 石河幹明(財政經濟時報十四の八)

(昭二、八)

町人趣味

太田正孝(三田評論)(昭二、一〇)

福澤先生の著述

石河幹明(財政經濟時報十四の一〇)

(昭二、一〇)

慶應義塾と福山藩との關係 横山雅男(三田評論)

(昭二、十二)

財界太平記(福澤岩崎と懇意の事) 白柳秀湖(經濟往來三

の一)(昭三、一)

福澤先生の生家 澤田謙(經濟往來三の一)(昭三、一)

福澤先生の著作に就いて 小泉信三(成人三の六)

(昭三、二)

瘠我慢の説と栗本鋤雲 小泉信三(三田評論)(昭三、三)

福澤先生より井上侯宛の書簡 横山雅男(三田評論)

(昭三、十二)

福澤さんと長崎 大庭耀(長崎隨筆 郷土研究)

(昭三、一)

福澤先生の人生觀 川合貞一(三田評論)(昭四、一)

明治初年に於ける憲法制定の議 尾佐竹猛(明治文化研

究)(昭四、一)

黎明を語る(明治二十年前後の社會思想)、金井延(經濟往

來四の二)(昭四、二)

町人諭吉と侯爵大隈 太田正孝(現代一〇の三)

(昭四、三)

朝鮮事變に就いて 井上角五郎(明治文化研究五の四)

(昭四、四)

福澤諭吉と刀劍 近松秋江(雄辨二〇の六)

福澤先生の思想原理 川合貞一(慶應義塾予科會誌六)

(昭四、七)

明治新語新説雜考 神代種亮(明治文化研究五の七五の八)

(昭四、七)

慶應義塾論 石濱知行(改造十一の十二)

政治教育家としての福澤先生 尾佐竹猛(三田評論)

(昭五、一)

福澤先生の「西洋事情初編」に見えたる會社と社債

栗栖尠夫(財政經濟時報十七の一)

本邦最初の統計 横山雅男(統計學雜誌五二三)

(昭五、一)

「文明開化」について 石川巖(明治文化研究六の一)

(昭五、一)

緒方洪庵の蘭學塾(一)(二) 武田勘治(教育學術界六)

〇の五六) (昭五、二、三)

維新前に於ける福澤先生 尾佐竹猛(三田評論)

(昭五、二)

福澤諭吉關係文獻總目錄(昆野和七)

福澤先生と古川正雄 横山雅男(明治文化研究六の三)

(昭五、三)

同時代觀 三宅雪嶺(我觀七七)

同時代觀 三宅雪嶺(我觀八二)

福澤先生の經濟學說 瀧本誠一(三田評論)

福澤諭吉先生の華族を導くの説 安藤徳器(法律春秋六)

〇三) (昭六、三)

福澤諭吉の民間經濟録と學者の志 田崎仁義(法律春秋

六の五)

ミルの「功利論」の書き入れより見たる福澤先生

川合貞一(三田評論)

(昭六、六)

福澤先生の政治思想の根基 占部百太郎(三田評論)

(昭六、六)

雜誌評論(その他)

明治の私學教育 鎌田榮吉(新日本二の九)

政治教育の今昔 鎌田榮吉(慶應義塾學報)

犠牲の新舊兩主義、福澤翁の名言 田中萃一郎(實業之

世界一〇の九)

(大ニ、五)

獨立自尊の眞意義 鎌田榮吉(慶應義塾學報)

(大ニ、一〇)

(四二一) 二八九

外人の見たる福澤先生 笠原嘉次郎 (慶應義塾學報)

(大三、一)

福澤先生紀念會所感 菊池大麓 (慶應義塾學報)

(大三、二)

戯曲「慶應から明治」 平木白星 (太陽二〇の五)

(大三、五)

福澤諭吉 大河内翠山 (雄辨五の六) (大三、六)

福澤先生が存世ならば如何なる言行をせらるべきか

向軍治 青木徹二 (實業之世界十一の二六) (大三、十二)

雄辨界の想い出、福澤翁の演説評 井上角五郎 (雄辨六の二)

(大四、一)

學問の神聖と獨立 北里柴三郎 (三田評論) (大四、二)

舊話 朝吹英二 (三田評論) (大四、二)

三田行の所感 鎌田榮吉 (三田評論) (大四、二)

福澤先生の常識修養法 鎌田榮吉 (實業之世界十二の七)

(大四、四)

福澤先生の根本精神「獨立自尊」の心を思ふ

鹿子木員信 (倫理講演集一五三) (大四、五)

日本外國貿易と福澤先生 森村市左衛門 (三田評論)

(大四、七)

三田學風の變遷 犬養毅 (三田評論) (大四、七)

福澤先生と長沼村の關係 鎌田榮吉 (三田評論)

(大四、九)

餘の在塾中に於ける珍談奇聞 須田辰次郎 (三田評論)

(四五、二)

餘の先輩及び友人の見たる福澤先生 江原素六 (三田

評論) (四五、二)

後輩として受けた感化 日賀田種太郎 (三田評論)

(四五、二)

福澤先生の平常と其の著書 山名次郎 (三田評論)

(四五、三)

慶應義塾の精神 石田新太郎 (慶應義塾商工會々報十三)

(四五、五)

慶應義塾と醫學との關係 鎌田榮吉 (三田評論)

(四五、六月—十一月)

義塾懷舊談 (三田評論) (四五—大九)

後藤牧太 (大五、八) 三輪光五郎 (大五、九) 須田辰

次郎 (大五、十一—大六、二) 松山棟庵 (大六、三)

草野清四郎 (大六、四) 飯田平作 (大六、五) 小野清

(大六、六) 森春吉 (大六、七) 酒井良明 (大六、八)

飯田三治 (大六、一〇) 安場末喜 (大六、十一) 井上

角五郎 (大六、十二) 山名次郎 (大七、一) 安藤正胤

(大七、二) 大窪實・市川勝太郎 (大七、三) 立田草

原田虎太郎・加藤木重教 (大七、五) 吉村寅太郎 (大

七、八) 岩村透(大七、九) 白水生(大七、一〇)  
坂田實(大七、十二) 栗木惠明(大八、一) 甲斐織衛  
(大八、四) 菅了法(大九、十一)

現代之實業 三田人物號(三の六) (大六、六)

福澤先生略傳 占部百太郎

福澤先生と政治、先生と政治趣味 占部百太郎

福澤先生と餘が生涯の事業 北里柴三郎

福澤先生の情的方面 田中 一貞

福澤先生と福地源一郎 馬場 孤蝶

福澤諭吉先生と西郷南洲翁 山名 次郎

福澤先生の高義と長沼村民の蘇生 大木源之助

恩人として觀たる福澤先生 森村市左衛門

福澤翁と義塾の教職員諸氏 天野 爲之

恩師として觀たる福澤先生 鎌田 榮吉

經驗より思ひつきし福澤先生の遺徳 西野惠之助

福澤先生及獨立自尊論 澁澤 榮一

福澤諭吉翁論 大隈 重信

在職二十年間の慶應義塾 鎌田榮吉(三田評論)

(大六、十二)

奈翁なき奈翁時代(勝、福澤兩翁を憶ふ)  
島田三郎(日本及日本人七二二)(大七、一)

義塾と朝鮮關係 鎌田榮吉(三田評論)(大七、四)

三傑後の十傑(福澤諭吉) 早川鐵治(實業之世界、十五  
の十一)(大七、六)

福澤先生を懷ふ 谷本富(雄辨九の十一)(大七、一〇)

福澤先生と門閥打破 菅學應(三田評論)(大九、四)

獨立自尊と新思想 鎌田榮吉(實業之世界一八の一)  
(大一〇、一)

偉人の片影 井上角五郎(現代二の一〇)(大一一、一〇)

福澤魂と新生 兒玉花外(雄辨十二の一〇)(大一一、一〇)

鐵道五十年福澤先生を追懷す 鎌田榮吉(三田評論)  
(大一一、十一)

大隈侯と福澤先生 矢野文雄(實業之日本二五の三)  
(大一一、三)

在塾當時の回顧 坂本易徳(三田評論)(大一一、五)

福澤先生の手紙 矢田 績(三田評論)(大一一、六)

塾長の任を辭す 鎌田榮吉(三田評論)(大一一、七)

福澤先生との對話 劍花山人(實業二の二)(大十二、二)

この念慮一つが成功の要素 井上角五郎(現代四の五)  
(大十二、五)

福澤先生を追懷す 堀内輝美(慶應義塾商工會々報二五)  
(大十二、七)

福澤諭吉翁の拜金と大阪人の拜金 野依秀市(實業之世界二一の二) (大十三、二)

福澤先生に就いての追懷 竹越與三郎(三田評論) (大十三、三)

追懷福澤先生 江川環桑(三田評論) (大十三、三)

福澤先生と演説の起源 鎌田榮吉(三田評論) (大十三、七)

福澤翁を刺さんとした奇才 草澤學人(現代五の七) (大十三、七)

保険醫より見たる福澤先生 高田他家雄(三田評論) (大十三、九)

福澤先生より聽きし演説の心得に就いて 井上角五郎(三田評論) (大十三、一〇)

福澤を暗殺せんとした四人組の書生 大音龍太(雄辨十五の一〇) (大十三、一〇)

福澤先生の珍らしき芳翰及山田十竹の福澤先生の時評 横山雅男(三田評論) (大十四、一)

新日本建設の大思人福澤先生提唱の獨立自尊にかへれ 山名次郎(實業之世界二一の五) (大十四、五)

福澤諭吉 鎌田榮吉(キング一の六) (大十四、六)

福澤先生より受けて感化 石河幹明(實業之日本二九の一) (大十五、一)

獨立自尊と相互敬愛 石田新太郎(三田評論) (大十五、二)

福澤先生と醫學 石河幹明(三田評論) (大十五、三)

慶應義塾の草分演説 大音龍太(雄辨十七の七) (大十五、七)

余の福澤先生初對面記 高橋義雄(實業之世界二四の三) (昭二、三)

福澤諭吉先生の事 井上角五郎(現代八の四、第二附録、偉人傑士言行録) (昭二、四)

書生の觀たる福澤先生 小山完吾(三田評論) (昭二、七)

福澤諭吉先生 鎌田榮吉(雄辨十九の二) (昭三、二)

在塾當時の思ひ出 小松鎌次郎(三田評論) (昭三、四)

福澤先生に就て思ひ出す事 春名高義(實業十二の六) (昭三、六)

福澤先生と理化學 鈴木梅四郎(三田評論) (昭三、七)

福澤先生の賜物 武藤山治(現代九の十一) (昭三、十一)

獨立自尊の精神を喚起せよ 鎌田榮吉(實業之日本三一の二二) (昭三、十一)

福澤先生に關する事ども 横山雅男(三田評論) (昭四、二)

朝鮮事變に就て 井上角五郎(講演六五) (昭四、二)

思ひ出の話 高山長幸(三田評論) (昭四、三)

學問

林毅陸 (現代一〇の四) (昭四四)

福澤先生と澁澤子爵 尾崎罌堂 (實業之日本三二の八) (昭四、四)

王政維新と福澤先生 鎌田榮吉 (現代一〇の五) (昭四、五)

先生の大感化 林幸平 (實業之日本三二の一〇) (昭四、五)

福澤先生に就いて 鎌田榮吉 (慶應義塾大學予科會誌六) (昭四、七)

福澤諭吉 佐藤南岳 (郊外一〇の九) (昭四、九)

福澤先生追憶 村上菟喜 (三田評論) (昭四、一〇)

明治初年「慶應」の塾風 波多野承五郎 (三田評論) (昭四、十一)

福翁逸話 松永安左エ門 (慶應俱樂部二二) (昭四、十二)

福澤先生の倂 石河幹明 (慶應俱樂部三の一) (昭五、一)

福澤先生を偲びて 横山雅男 (三田評論) (昭五、二)

福澤先生とドクトル・シモンズ 藤山雷太 (三田評論) (昭五、三)

福澤先生の眞髓 北川禮弼 (慶應俱樂部三の三) (昭五、三)

福澤先生と伊藤公 足立莊 (慶應俱樂部三の三) (昭五、三)

福澤先生と學生 鎌田榮吉 (三田評論) (昭五、七)

福澤先生と教育 林毅陸 (三田評論) (昭五、八)

福澤先生に就て 高橋義雄 (三田評論) (昭六、四)

偉大なる感化力 鎌田榮吉 (三田評論) (昭六、六)

福澤諭吉先生を想ふ 犬養毅 (雄辨二二の七) (昭六、七)

福澤先生と職業 小林澄兄 (慶應義塾普通部ニューズ三の二四) (昭六、一〇)

福澤諭吉と慶應塾 鎌田榮吉 (三田評論) (昭六、十一、十二)

(四) 福澤傳完成より太平洋戦争時代の部

(自昭和六年 至昭和十九年)

傳記・全集完成

石河幹明著「福澤諭吉傳」 (四卷) (昭七、二一七)

慶應義塾圖書館編傳記完成「福澤先生遺墨集」 (昭七、六)

慶應義塾編「續福澤全集」 (七卷) (昭八、五一九、七)

復刻本

- 清岡映一譯「英文福翁自傳」 (昭九、十一)
- 石橋湛山解題 福澤諭吉著「縁の下の力持」 (昭九、一)
- 加田哲二編「福澤諭吉・神田孝平集」 (昭十一、三)
- 富田正文校訂「福翁自傳(岩波文庫)」 (昭十二、四)
- 富田正文 共編「福澤文選」 (昭十二、四)
- 富田正文校訂「福翁百語・百餘話」 (改造文庫) (昭十六、六改訂)
- 富田正文校訂解題「學問のすゝめ」 (日本評論社) (昭十六、十二)
- 昆野和七解説「學問のすゝめ」 (岩波文庫) (昭十七、十二)
- 八尋瑞雄校訂「日本臣民の覺悟」 (昭十七、一)
- 小林澄兄著「福澤諭吉論集」 (教育叢書) (昭十八、十一)
- 高橋誠一郎編解題「福澤諭吉經濟論集」 (慶應出版社) (昭十八、六)
- 單行本**
- 赤松文二郎著「郷賢福澤先生」 (昭七、十一)
- 中津教育會編「福澤諭吉先生」 (昭八、一)
- 矢田績著「福澤先生と自分」 (昭八、二)
- 高橋誠一郎著「福澤先生傳」 (偉人傳全集第九) (昭八、六)
- 井上角五郎著「福澤先生の朝鮮御經營と現代朝鮮の文化とに就いて」 (昭九、二)
- 高橋義雄著「福澤先生を語る諸名士の直話」 (昭九、一〇)
- 和田日出吉著「福澤諭吉と弟子達」 (昭九、九)
- 木村毅著「傳記小説集」 福澤諭吉 (昭九、一〇)
- 慶應義塾大學醫學部刊「福澤先生と慶應義塾」 (福澤先生誕生百年記念講演) (昭九、十二)
- 石河幹明著「福澤諭吉」 (小傳) (昭一〇、三)
- 木村毅著「明治建設」 (小説福澤諭吉) (昭一〇、四)
- 伏見猛彌阿部仁三共著「福澤諭吉」 (十二、四)
- 羽仁五郎著「新井白石・福澤諭吉」 (表紙題名は白石・諭吉) (昭十二、六)
- 水木京太編「福澤諭吉人生讀本」 (昭十五、四)
- 福澤先生研究會編「福澤諭吉の人と思想」 (昭十五、四)
- 川合貞一著「福澤諭吉先生を語る」 (昭十六、七)
- 富田正文著「福澤諭吉襟笈」 (昭十七、三)
- 峰岸治三著「獨立自尊」 (昭十七、四)
- 川邊真藏著「福澤諭吉」 (昭十七、九)

單行本 (福澤論のあるもの)

- 京都慶應俱樂部編「京都慶應義塾」(福澤先生と京都文化) (昭七、十一)
- 林毅陸著「弘堂講話集」 (昭八、五)
- 加田哲二著「明治初期社會思想の研究」(明治初期の思想家—福澤諭吉) (昭八、五)
- 田制佐重著「日本精神思想概説」(福澤諭吉と西村茂樹) (昭八、六)
- 小泉信三著「師・友・書籍」 (昭八、六)
- 高橋義雄「箒のあと」(上下) (昭八、七—十一月)
- 雄山閣編「異説日本史」第八卷人物篇 (福澤諭吉) (昭八、七)
- 木村毅著「明治文學を語る」(啓蒙期の天才福澤諭吉「かたわ娘」の寓意) (昭九、五)
- 河野省三著「日本精神發達史」(福澤諭吉の帝室論) (昭八、九)
- 鎌田榮吉先生傳記及全集刊行會編「鎌田榮吉全集」(二卷・三卷) (昭九、六一—二〇)
- 高梨光司著「維新史籍解題」(福澤諭吉) (昭一〇、一)
- 淺井清著「明治立憲思想史に於ける英國議會制度の影響」 (昭一〇、二)

福澤諭吉關係文献總目錄 (昆野和七)

永田廣志著「日本唯物論史」(福澤諭吉の哲學)

- 渡邊幾治郎著「日清日露戰爭史話」 (昭十二、三)
- 加田哲二著「明治初期社會思想史」 (昭十二、六)
- 尾佐竹猛著「日本憲政史論集」 (昭十二、九)
- 渡邊幾治郎著「日本憲法制定史講」 (昭十二、十一)
- 山名次郎著「偉人秘話」 (昭十二、十二)
- 小泉信三著「支那事變と日清戰爭」 (昭十二、十三)
- 正宗白鳥著「文壇的自敘傳」 (昭十三)
- 淺井清著「明治維新と郡縣思想」 (昭十四、十一)
- 淺野晃著「楠木正成」 (昭十五、十二)
- 三笠書房刊「學生教養講座」第四卷 (福澤諭吉—高橋誠一郎) (昭十六、三)
- 田畑忍著「學問と大學」(福澤諭吉の政治思想) (昭十六、九)
- 遠藤元男編「日本歷史學入門」(日本の思想と文化—圭室諦成) (昭十六、一〇)
- 今泉みね著「名ごりのゆめ」 (昭十六、一〇)
- 小泉信三著「學生に與ふ」 (昭十六、十二)
- 高橋誠一郎著「王城山莊隨筆」 (昭十六、十二)
- 土屋喬雄著「日本の經濟學者」(福澤諭吉) (昭十六、十二)

(四二七) 二九五

雜評新聞評論 (學術的のもの)

福澤傳の完成 小泉信三 (中央公論四六の七) (昭六、七)

福澤諭吉 (經濟學者の話) 加田哲二 (經濟知識六の九) (昭六、九)

福澤先生と日清戰爭 小泉信三 (財政經濟時報十八の十) (昭六、十二)

福澤先生の政治戯曲「四方の暗雲波間の春雨」 柳田泉 (書物展望二の一) (昭七、一)

「西津事情」偽版 吉野作造 (書物展望二の一) (昭七、一)

「福澤諭吉傳」の刊行に就て 阿部章藏 (福澤諭吉傳内 容見本) (昭七、二) (貝殻追放所收)

福澤先生と日清戰爭 小泉信三 (改造の二) (昭七、二)

福澤先生と日清戰爭 小泉信三 (三田評論) (昭七、二)

福澤先生傳の編纂成る 富田正文 (三田文學七の二) (昭七、二)

學問のすゝめに就て 及川恒忠 (三田評論) (昭七、三)

福澤先生の晩年と慶應義塾 高橋誠一郎 (三田評論) (昭七、四)

師範教育と慶應義塾 小林澄兄 (三田評論) (昭七・九)

明治時代に於ける日本文化史の展望 松本彦次郎 (歴

史教育七の九、増刊號)

法律家としての福澤先生 尾佐竹猛 (三田評論) (昭七、十二)

晩年の福澤先生 高橋誠一郎 (三田評論) (昭八、一)

梅園、萬里及び福澤先生の經濟論 高橋誠一郎 (三田 學會雜誌、二七の一) (昭八、一)

漢文學と福澤先生 高橋義雄 (三田評論) (昭八、二)

四方の暗雲波間の春雨 (福澤先生の戯曲) 富田正文 (三 田文學八の五) (昭八、五)

續福澤全集完成と其中の一文 板倉卓造 (三田評論) (昭八、七)

續福澤全集第一卷 幸田成友 (三田評論) (昭八、七)

最近發見せる福澤先生の書簡 幸田成友 (三田評論) (昭八、七)

「續福澤全集」を読む 小泉信三 (三田評論) (昭八、七)

「帳合之法」につきて 西川孝次郎 (會計三五の三) (昭八、七)

續福澤全集に對する諸家の批評 小泉信三 (三田評論) (昭八、九)

續福澤全集に就て 鎌田榮吉 (三田評論) (昭八、一〇)

福澤先生と科學 北島多一 (三田評論) (昭八、十二)

維新の旋回運動に於ける福澤先生 (先生の生誕百年祭に 因みて) 芋作 (ダイヤモンド二二の三) (昭九、一)

福澤先生の精神文化への貢献 川合貞一（日本精神文化

一の一）（昭九、一）

福澤先生と統計 横山雅男（明るい家）（昭九、二）

先覚者教育家としての福澤先生 小泉信三（三田評論）（昭九、二）

福澤先生「書翰集」に就て 柳田泉（明治文化研究）（昭九、二）

福澤諭吉傳（明治經濟學者小傳、四） 鎌倉保（財政經濟時報）（昭九、二）

福澤諭吉暗殺其他（劍客任俠斬り損なつた經驗） 長谷川伸（文藝春秋十二の三）（昭九、三）

福澤先生と浮世繪版畫 高橋誠一郎（經濟往來九の三）（昭九、三）

福澤先生と自由主義 波山徹哉（現代文化二）（昭九、四）

明治十四年政變についで 渡邊栗山（明治文化研究二）（昭九、五）

明治の史論家（一、二） 白柳秀湖（實生活二一五、二一六）（昭九、五一六）

福澤先生の著述と經濟論 藤野靖（商業論集九の一）（昭九、六）

明治初年の新舊思想對立への序曲 加田哲二（三田學會雜誌二八の六）（昭九、六）

福澤諭吉關係文獻總目錄（昆野和七）

福澤先生の貧富論 高橋誠一郎（三田評論）（昭九、七）

福澤先生のこと 小泉信三（中央公論四七の一〇）（昭九、一〇）

「史學」福澤先生生誕百年記念（第十三卷第三號）（昭九、十一）

福澤先生の教育觀 川合 貞一

福澤先生と明治十四年の政變に關する資料 尾佐竹 猛

國語國文から觀た福澤先生 高橋 龍雄

歐洲重商主義及び自由主義經濟思想と福澤先生 の特殊日本の重商主義經濟論 高橋誠一郎

福澤先生の國家及社會觀 小泉 信三

歴史家としての福澤先生 松本 芳夫

福澤先生資料拾遺 富田 正文

福澤先生關係文獻目錄稿 今宮 新

三田政治學會誌（第九號 生誕百年記念）（昭九、十二）

「學問のすゝめ」と Wayland's Moral Science. 板倉 卓造

大經世家としての福澤先生 林 毅 陸

福澤先生の「瘠我慢の説」 小泉 信三

福澤先生の政治論の基調 川合 貞一

福澤先生は大勇者である 西本辰之助

（四二九） 二九七

福澤先生に就いての二つのはなし 及川 恒忠  
Learn or perish!

百年祭隨想 間崎 万里

先生と將棋 潮田 江次

五十年前の先生の御快談を思ひ出す上田 充

福澤先生管見 伊藤 政寛  
昆野 和七(學生)

理財學會誌(生誕百年記念論文集) 高橋誠一郎 (昭一〇、一)

福澤先生の社會思想 小泉 信三

福澤先生の「瘠我慢の説」 氣賀 勘重

福澤諭吉と地理教育 中島滿洲夫(地政學四一六) (昭十一、六)

桑港に於ける成臨丸一行 春浦漂客 (海の日本一三八) (昭十二、四)

福澤先生の宗教觀 西原眞月(文化時報) (昭十二、五月より五五回連載)

德育について 天野貞祐(教育五の五) (昭十二、五)

福澤澁澤及び三宅三先生 白柳秀湖(實生活) (昭十二、六一七)

福澤先生の法學觀 手塚豊(三田評論) (昭十二、六)

國粹主義者國權主義者としての福澤先生 白柳秀湖 (實生活) (昭十二、八)

福澤文選に就いて 昆野和七(三田評論) (昭十二、八)

福澤先生と日清戦争 小泉信三(文部時報) (昭十二、一〇)

爲政者と學者 高橋誠一郎(現代の經濟) (昭十二、十一)

戦争と福澤先生 富田正文(三田新聞) (昭十二、十一、五)

「日本經濟學說」と「管理經濟」序説 神田孝一 (工場管理研究三九一四〇) (昭十二)

伏見阿部兩氏著 福澤諭吉を讀む 富田正文(教育、五の六) (昭十二、六)

萬延元年遺米使節と咸臨丸のハワイ寄港 清岡映一 (史學十六の二) (昭十二、六)

萬延元年米布見聞に關する報告 富田正文(史學十六の二) (昭十二、六)

日清戦争と福澤諭吉 小泉信三(改造十九の十四) (昭十二、十一)

郡縣思想の發達 淺井清(法學研究、十五の二、三、四、十六の三) (昭十二、四)

「獨立自尊」の眞義に關する一考察 伊藤徳太郎 (三田評論) (昭十三、一一四)

日清戦争と福澤先生 清岡映一(慶應義塾普通部ニューズ) (昭十三、一、二四)

伯柳通報 (福翁自傳特輯) (第十三卷第二號) (昭十三、二)

英文福翁自傳に就て 清岡 映一

岩波文庫版「福翁自傳」に就て 富田 正文

「福翁自傳」雜感 江波戸 靖 (學生)

福翁自傳讀後感 松永 武 (學生)

Statistik 譯字の沿革に就て 横山雅男 (三田評論) (昭十三、七、八)

憲法發布五〇年——福澤先生と三田門下生の憲政に對する功勞

昆野和七 (三田新聞) (昭十三、二、一五)

福澤先生と科學 小泉信三 (三田評論) (昭十三、四)

福澤先生と體育 富田正文 (三田新聞) (昭十三、四、二五)

福澤先生と馬場辰猪 馬場孤蝶 (三田評論) (昭十三、五、六、七)

福澤先生の記事 近松秋江 (明治の文學——明治の文章明

治の文學特輯) (昭十三、九)

福澤先生と交通 三井高陽 (交通文化) (昭十三)

福澤研究 (福澤先生研究會編、第一號) (昭十五、一)

體系的哲學者 Systematiker としての福澤先生

羽仁 五郎

福澤先生譯「海岸防禦論」について (福澤先生

關係資料拾遺) 富田 正文

福澤諭吉關係文獻總目錄 (昆野和七)

福澤先生の漢字制限論

福澤先生の男女論

明治八年新聞紙上に於ける貿易論 江波戸 靖 (學生)

塾長藤野善藏のこと 昆野和七 (歴史と生活三ノ二) (昭十五、四)

國際人馬場辰猪に就て 昆野和七 (財政經濟時報) (昭十五、八)

福澤先生の東洋政略 富田正文 (財政經濟時報) (昭十五、八)

福澤研究 (福澤先生研究會編、第二號) (昭十五、一〇)

金玉均の供養 (福澤先生關係資料拾遺) 富田 正文

福澤先生の法理思想 峯村 光郎

福澤先生の日本臣民の覺悟 喜多壯一郎 (政界往來) (昭十六、二)

維新指導者の經濟思想 土屋 喬雄 (日本評論) (昭十六、三)

在野精神論 津久井龍雄 (改造時局版) (昭十六、五)

學問論 三木 清 (中央公論) (昭十六、五)

田畑忍著「學問と大學」 昆野和七 (三田新聞) (昭十六、一〇、二九)

「實驗的精神」 (對談 三木清、小林秀雄) (文藝) (昭十六、八)

福澤諭吉の獨立論―「學問すゝめ」を中心として―

富田正文(知性) (昭十六、八)

近頃の福澤論 昆野和七(慶應俱樂部) (昭十六、九)

維新當時の福澤先生(資料紹介) 富田正文(三田評論) (昭十六、九)

座談會「國家と大學」―學問の効用と權威、福澤先生の學問論を中心として―三木清、菅井準一、大河内一男、船山信一、富田正文(三田新聞) (昭十六、十一、五)

危機における指導者的思想家としての諭吉の諸性格

小林喜尙(學生) (綠會雜誌十三卷) (昭十六、十二)

東大法學部政治學科 政治懸賞論文 福澤諭吉研究 第一席當選論文

福澤先生の英書輸入 富田正文(學鏡) (昭十七、一)

唐人往來(福澤諭吉稿) 昆野和七(三田評論) (昭十七、二)

富田正文著「學問のすゝめ」解題 今村武雄(三田新聞) (昭十七、二、十八)

西洋列強の東侵と福澤諭吉 小泉信三(中央公論) (昭十七、三)

明治建軍と福澤先生 昆野和七(歴史と生活五ノ二) (昭十七、三)

黎明期の偉人「福澤諭吉」 阿部仁三(新若人) (昭十七、三)

富田正文著「福澤諭吉襟笈」 大久保利謙(三田新聞) (昭十七、三、二十五)

福澤諭吉富田鐵之助宛書翰 富田正文(三田新聞、讀賣新聞) (昭十七、四、十五)

福澤諭吉の儒教主義批判 丸山眞男(東大學術大觀、法學部所收) (昭十七、四)

再び唐人從來に就て 昆野和七(三田文學) (昭十七、六)

福澤先生と經濟學の移入 三邊清一郎(歴史と生活五の四) (昭十七、一〇)

川邊眞藏著「福澤諭吉」 富田正文(書齋六ノ十二) (昭十七、十二)

文明開化の精神 西村孝次(批評) (昭十八、一)

福澤選集刊行に就て 昆野和七(三田評論) (昭十八、三)

福澤先生とその經濟的背景 土橋俊一(學生) (經濟學會誌創刊號) (慶大日吉) (昭十八、三)

轉換期に於ける福澤先生の先覺者的性格 土橋俊一(學生) (慶應義塾大學豫科會誌二十四) (昭十八、六)

福澤研究(福澤先生研究會編 第三號) (昭十八、六)

平凡なる福澤論 尾佐竹 猛

福澤先生景仰抄録 西村 郁郎

「地租論」に就て 森下 孝(學生)

福澤先生手記「道中日記」(資料紹介解題) 富田正文

(三田評論)

福澤先生と軍人援護 小泉信三(三田新聞)

(昭十八、九)

慶應義塾と軍事援護 永澤邦男(三田新聞)

(昭十八、一〇、二五)

福澤諭吉に於ける秩序と人間 丸山眞男(三田新聞)

(昭十八、一〇、二五)

(昭十八、十一、二五)

雑誌新聞評論(その他)

福澤先生と人格養成 鎌田榮吉(慶應義塾普通部ニューズ)

四の二九、三〇)

(昭七、三)

福澤先生について(愛國者の一面について) 小泉信三

(慶應普通部ニューズ 四の三一) (昭七、五)

福澤先生(僕の感心した人物) 林毅陸(ダイヤモンド)

二〇の十九)

(昭七、六)

弱者と福澤先生 林毅陸(三田評論) (昭七、七)

慶應義塾の七十五年間 鎌田榮吉(慶應義塾大學豫科會)

誌十一)

(昭七、七)

創立七十五年を迎へて 林毅陸(稻荷山から二の一)

(昭七、七)

慶應雄辯會の憶ひ出 柴田一能(雄辯、二三の七)

(昭七、七)

福澤諭吉關係文献總目錄 (昆野和七)

社會の現状と教育 林毅陸(鎌田共濟會雜誌、九の三)

(昭七、八)

福澤諭吉先生 林毅陸(ダイヤモンド二〇の二九、二〇の三〇)

(昭七、九一〇)

福澤先生略歴 川合貞一(電氣の友、七九〇) (昭九、二)

福澤先生誕生第一百年を迎へて 水木京太(三田評論) (昭九、二)

日本の夜明け(ラジオ、ドラマ) 水木京太(三田評論) (昭九、二)

(昭九、二)

福澤先生誕生一百年を想ふ 水木京太(實業之世界、三一の二)

(昭九、二)

福澤先生に就て感銘せる點 波山徹哉(伯柳、五)

(昭九、五)

慶應義塾を中心に 小泉 信三(現代十五の六)

(昭九、六)

福澤諭吉を語る 伊藤痴遊(講談落語界、二三の六、七、八)

(昭九、六、一七、一八)

福澤先生のことども 昆野和七(三田政治學會雜誌四四三)

(昭九、七)

福澤諭吉(戯曲) 中村吉藏(キング一〇の九)

(昭九、九)

戯曲福澤諭吉 眞山青果(改造十六の一〇、特輯號)

(昭九、一〇)

(四三三) 三〇一

戯曲福澤諭吉 中村吉藏(新演劇二の一〇〇) (昭九、一〇〇)  
座談會「節操を語る」 婦人之友社主催(婦人之友) (昭十二、三)

慶應義塾と福澤精神 昆野和七(受験雜誌考へ方) (昭十二、四)

少年の爲めの福澤諭吉 小泉信三(婦人之友) (昭十二、五)  
偉人傳

卒業生諸君を送る 小泉信三(三田評論) (昭十二、五)

福翁自傳につきて 柳田泉(三田評論) (昭十二、八)

先覺者福澤諭吉 宮原清(慶應俱樂部會報) (昭十二、九、一〇、一十一)

慶應義塾大學講座「經濟學」發刊の辭 高橋誠一郎 (現代の經濟) (昭十二、十一)

忠烈なる我が將兵 小泉信三(三田評論) (昭十二、十一)

小泉高橋兩先生中心の經濟學座談會(現代の經濟) (昭十二、十二)

慶應義塾大學講座「經濟學」の使命 高橋誠一郎 (同講座内容見本) (昭十二、十二)

慶應義塾大學講座「經濟學」發刊の辭 小泉信三 (同講座内容見本) (昭十二、十二)

評傳武藤山治 田島操(財政經濟時報、二四の一〇〇) (昭十二、一〇)

福澤先生の論文に就て 伊藤仁太郎(痴遊雜誌三、九、一〇、十一) (昭十二、三十一)

福澤先生關係良書推薦(三田評論編輯部—昆野記) (三田評論) (昭十三、一)

軍資の義捐(福澤諭吉)(大阪慶應俱樂部會報) (昭十三、一)

愛國者福澤諭吉 小泉信三(大阪慶應俱樂部) (昭十三、一)

福澤先生を偲ぶ 土田都止雄(慶應普通部ニーズ) (昭十三、一)

昭和十二年度中福澤先生關係文獻目錄 三田評論編輯部 (三田評論) (昭十三、二)

福翁自傳が時事新報に連載された當時の感想 笠原嘉次郎(伯柳通報福翁自傳特輯一三の二) (昭十三、二)

福翁自傳感想 渡邊陽之助(伯柳通報福翁自傳特輯一三の二) (昭十三、二)

福澤文獻の蒐集 肥後信吉(大阪慶應俱樂部會報) (昭十三、二)

「獨立自尊」私解 岡田耕三(大阪慶應俱樂部會報) (昭十三、二)

福澤先生と馬場辰猪 馬場孤蝶(三田評論) (昭十三、五、六、七)

生徒募集の珍ビラ、定説を覆す福翁の商法講習所 (都新聞) (昭十三、六、十九)

福澤先生と科學 小泉信三 (慶應俱樂部會報)

(昭十三、七)

福澤先生追悼録の一節 岡崎茂 (慶應義塾商業學校校友

會十四の七)

(昭十三、七)

生徒募集の廣告ビラ、福澤先生と簿記を語るもの

(三田新聞) (昭十三)

福澤先生の新聞哲學 近藤秀嘉 (慶應俱樂部)

(昭十六、一〇)

福澤諭吉の生涯 小林澄兄 (生活改善)

(昭十六、一〇)

(五) 太平洋戦争後之部 (昭和二十年以降)

既刊本重版

川合貞一校訂「文明論之概略」 (岩波文庫版)

(昭二〇、一〇)

富田正文校訂解題「學問のすゝめ」 (日本評論社版)

(昭二一、四)

石河幹明著「福澤諭吉」 (小傳) (岩波版)

(昭二一、四)

富田正文校訂「福翁自傳」 (岩波文庫版)

(昭二一、六)

羽仁五郎著「新井白石福澤諭吉」 (岩波書店)

(昭二一、十二)

高橋誠一郎著「福澤諭吉」 (實業之日本社)

(昭二二、四)

清岡暎一譯「福翁自傳」 (英文) (慶應義塾九十年祭記念

福澤諭吉關係文獻總目錄 (昆野和七)

版) (昭二三、五) (北星堂版の重版) (昭二三、八)

太田正孝著「町人諭吉」 (新世界文化社) (昭二三、六)

田中王堂著「福澤諭吉」 (關書院) (昭二四、一)

新刊複製本

三枝博音解題「福澤諭吉日本文明の由來」 (十一組出版

部) (昭二一、六)

昆野和七編校「福澤諭吉女子教育論」 (慶應出版社)

(昭二一、七)

昆野和七校訂「福翁自傳」 (森下書房) (昭二二、十一)

小泉信三解題「福澤諭吉民情一新」 (常松書房) (昭二二、十一)

白井喬二譯「福澤諭吉學問のすゝめ」 (現代語譯) (淡海堂

板倉卓造解題) (昭二二、十一)

小泉信三著「福澤諭吉の人と書翰」 (慶友社) (昭二三、五)

昆野和七編校「福澤諭吉學問獨立論」 (慶應出版社)

(昭二三、八)

富田正文校訂解題「福翁自傳」 (決定版) (慶應通信教育

圖書) (昭二四、四)

昆野和七校訂解題「學問のすゝめ」 (決定版) (岩崎書

店) (昭二五、三)

時事新報社編「福澤諭吉のことば」(福澤諭吉展覽會開催記念)(富田正文撰) (昭二五、六)

單行本

柳田泉著「明治の人物」(福澤諭吉) (東京講演會) (昭二一、四)

小林澄兄著「福澤諭吉と新教育」(教育科學社) (昭二二、二)

上田庄三郎著「民主教育の先驅者」(福澤諭吉を主題とす)(三興書林) (昭二二、一〇)

宇野浩二著「福澤諭吉」(小説)(新生社)(昭二二、十二)

野村兼太郎著「福澤諭吉の根本理念」(東洋經濟新報社) (昭二三、三)

小泉信三著「福澤諭吉の人と思想」(慶友社) (昭二三、五)

吉田武三著「福澤諭吉」(弘堂社) (昭二三、一〇)

小泉信三著「福澤諭吉」(アテネ文庫)(弘文堂) (昭二三、一〇)

浦上五六著「福澤諭吉の若き日」(青少年物)(學習社) (昭二四、一)

宮下正美著「福澤諭吉」(青少年物)(妙義出版社) (昭二四、二)

小林澄兄著「福澤諭吉」(青少年物)(廣島圖書) (昭二四、四)

澤田謙著「福澤諭吉」(青少年物)(偕成社) (昭二四、九)

中村菊男著「日本近代化と福澤諭吉」(改造社) (昭二四、十一)

高石眞五郎著「福澤諭吉」(社會教育協會) (昭二五、七)

松永安左エ門「淡々録」(福澤先生の見舞客) (昭二五、九)

單行本(福澤諭吉のあるもの)

羽仁五郎著「デオコンダの微笑」(福澤諭吉)(三一書房) (昭二二、九)

加田哲二著「日本社會思想史下卷」(文明開化論と新しい學問—福澤諭吉の文明論を中心として)(岩崎書店) (昭二四、十二)

池田成彬述「故人今人」(福澤諭吉論)(世界の日本社) (昭二四、十二)

藤原銀次郎著「思い出の人々」(ダイヤモンド社) (昭二五、三)

毎日新聞社編「要説福澤諭吉」(福澤諭吉偉業展覽會説明書) (昭二五、四)

野田教育研究所編「近代日本の開拓者」(福澤諭吉—土屋忠雄) (昭二五、四)

辰野隆編「近代日本の教養人」(福澤諭吉—杉森孝次郎) (昭二五、六)

### 雑誌新聞評論

福澤諭吉(人と思想の研究) 羽仁五郎(中央公論) (昭二一、一一三)

時勢の變革と歴史の反省—愚管抄と文明論の概略

村岡典嗣(潮流) (昭二一、三)

福澤先生の婦人論 富田正文(自由評論) (昭二一、五)

福澤諭吉と啓蒙宣傳 富田正文(綜合雜誌) (昭二一、六)

福澤諭吉新論 上野芳太郎(新教育研究) (昭二一、六)

福澤先生と國語問題 富田正文(世界) (昭二一、七)

福澤先生の女大學 高橋誠一郎(新女苑) (昭二一、七)

福澤先生の思想と生涯 富田正文(光) (昭二一、九)

福澤に於ける實學の轉回 丸山眞男(東洋文化研究) (昭二一、三)

福澤諭吉小傳 嘉治隆一(傳記) (昭二二、一)

三田新聞(九十年祭記念號) (昭二二、五、二〇)

近代日本政治に於ける福澤イズム 鈴木 安藏

福澤民主主義の史的考察 土屋 喬雄

福澤精神を繼承 野坂 參三

福澤諭吉關係文献總目錄 (昆野和七)

福澤諭吉 西村孝次(新しい教室) (昭二三、六)

福澤諭吉觀 守隨憲治(國語と國文學) (昭二三、七)

福澤自傳 小泉信三(文藝春秋) (昭二三、八)

福澤先生の學問論 野村兼太郎(三田學會雜誌) (昭二二、七、八、九合併號)

福澤諭吉の哲學—とくにその時代批判との關聯 丸山眞男(國家學會雜誌) (昭二三、九)

福澤諭吉の歴史觀 小泉信三(人間) (昭二三、十二)

福澤諭吉の書翰 小泉信三(文藝春秋) (昭二三、十二)

福澤諭吉の青年時代 富田正文(青年文化) (昭二三、一)

四つの福澤論 達山茂樹(歴史學研究) (昭二三、三)

福澤先生を憶う(一月十日記念講演の一部) 三洲忠彦(三色旗第三號) (昭二三、三)

福澤先生と飛行機 奥井復太郎(慶應通信) (昭二三、七)

福澤諭吉の政治思想論 中村菊男(慶應義塾大學通信教 育教材名著研究) (昭二三、十二)

學問のすゝめ 小泉信三(新潮) (昭二三、六)

郵便制度の紹介者 富田正文(三色旗第五號) (昭二三、八)

新聞人福澤諭吉 富田正文(新聞研究) (昭二三、八、九、一〇)

「福翁自傳」の自筆草稿 富田正文(三色旗第七號)

(昭二三、一〇)

戦後に於ける福澤諭吉に關する研究文献(英文)

昆野和七(三田キヤムパス)(昭二三、八)

福翁百話、百餘話の草稿 昆野和七(三色旗第十號)

(昭二四、一)

池田成彬氏座談會(思想と科學)

(昭二四、一)

—池田成彬、丸山眞男、武谷三男、南博、鶴見俊輔—

説得か暴力か——現代社會に於ける言論の自由

イー、ハーバード、ノーマン(世界三八號)(昭二四、二)

正理を守つて身を捨てるか 中村菊男(慶應通信)

(昭二四、五)

福澤先生と現代日本 野村兼太郎(三色旗十七號)

(昭二四、八)

英譯「福翁百話」(連載) 北川虎雄(三田キヤムパス)

(昭二四、九より)

One Hundred Discourse of Old Fukuzawa, Translated

by Torao Kitagawa, The Mita Campus, September,

1949.

福澤精神と現代的意義 中村菊男(三田政治學會誌)

(昭二四、十一)

獨立に於ける内と外とを論ず

岡猛(學生)

福澤諭吉の現代的意義

(三田政治學會誌)(昭二四、十一)  
稻葉照一(學生)

中村菊男著「日本近代化と福澤諭吉」(書評)

昆野和七(圖書新聞)(昭二四、十一、二三)

中村菊男著「日本近代化と福澤諭吉」(書評)

蠟山政道(讀書新聞)(昭二四、十二、十四)

福澤研究(四)(福澤研究會編)(復刊第一號)

(昭二五、一)

福澤研究の方向に就いて

小泉 信三

恩師石河幹明先生

板倉 卓造

福澤先生とレオン・ド・ロニイ

野村兼太郎

福澤先生と木村芥舟(新資料紹介)

富田 正文

封建社會と福澤の立場

土橋 俊一(學生)

福澤先生研究會、福研賞第一回(昭和二十三年)授賞論文

戦後に於ける福澤文獻に就いて

昆野 和七

福澤先生に於ける自由の形成

丹波 和夫(學生)

福澤諭吉翁を語る座談會(朝日新聞)(西部)

(昭二五、一、五—二、十一)(六回)

出席者 淺沼義男、佐藤寅二、服部元治、遠入鐵次郎、

横松宗、向野明之助、熊谷久虎、(紙上參加)

村上巧兒、直村とせ、新聞社側 大串大分支局

長 菅原中津通信員

中津弘報 (福澤五十年忌特輯)

(昭二五、一、二六)

福澤先生を偲ぶ

瀨口 金藏

諭吉翁逝いて五十年往時をしのぶ

小泉 信三

福翁の宗教觀に就て

中川 幹夫

昔の福澤と今の福澤

野依 秀市

福澤精神について

都留 玄海

福澤先生と中津の解放

横松 宗

産業新聞 (福澤五十年忌特輯)

(昭二五、一、三〇) (中津)

福澤と増田

今永 正樹

福澤諭吉

野依 秀市 (その他)

三田新聞 (福澤五十年忌特輯)

(昭二五、一、三〇)

福澤精神を繼ぐもの

高橋 碩一

福澤諭吉先生の文學論

柳田 泉

福澤散步黨時代

小山 完吾

毎日新聞 (福澤五十年忌記念特輯)

(昭二五、二、二 大分版)

獨立自尊の精神

高橋誠一郎

母にきく祖父の人格

清岡 映一

四女福澤房子及尾崎行雄談話、新資料紹介 (此の特集は東京版大阪版にも掲載)

野村兼太郎 (日本教育新聞)

福澤諭吉關係文獻總目錄 (昆野和七)

(四三九) 三〇七

福澤翁五十年祭に寄す インポデン少佐 (大分合同新聞)

福澤先生基督教を論じて救國を叫ぶ 野依秀市 (濟美々)

イムズ (中津) (昭二五、二、五)

學問と思想の自由のために 大内兵衛 (毎日新聞)

(昭二五、二、二八) (日本評論) (昭二五、六)

時事新報 (福澤五十年忌記念特輯) (昭二五、五、六)

— 初代學士院長福澤諭吉五十年忌記念 —

— 民主主義の父福澤先生特輯 —

福澤學の現在未來 小泉 信三

福澤諭吉と新聞 伊藤 正徳

思い出 葦原 雅亮

福澤研究の資料に就て 昆野 和七

福澤先生と財界 K 記者

福澤展の出品案内等 野依秀市 (世界)

皇室尊崇論 (帝室論を改題したるもの) (昭二五、五)

佛教五の五) 木村毅 (夕刊讀賣連載)

福澤諭吉 (小説) (昭二五、五、二九—九、十四)

因れざる人福澤諭吉 野村兼太郎 (日本教育新聞)

— 讀賣ホールに於ける福澤記念講演會講演速記 — (昭二五、六、三、六)

通俗民權論第二編(草稿) 昆野和七解題(朝日評論) (昭二五、六)

最晩年の福澤先生 高橋誠一郎(中央公論) (昭二五、七)

小説教室(第四講)可能と不可能(第五講)正筆と仄筆 木村毅(昭二五、五、三〇) 讀賣ホール福澤諭吉記念講演 (昭二五、七、八)

法學研究(福澤諭吉特輯) (文章俱樂部) (昭二五、八)

條約改正と福澤諭吉 中村 菊男

法典爭議と福澤の立場 田中 實

福澤諭吉の上書 田中 實

—(長州再征に關する建白寫本)— 昆野 和七

日本の英學 西脇順三郎 (The Youth's Companion October 1950) (昭二五、一〇)

福澤研究(五) (福澤先生研究會編) (復刊第二號) (昭二五、一〇)

明治民法と福澤諭吉 玉城 肇

日本科學史上に於ける福澤の地位 大矢 眞一

父諭吉を語る 志立 たき

先生と一塾生 高石眞五郎

一太郎宛書翰 昆野 和七編

福澤諭吉と水田 雄谷 三郎(學生)

福澤諭吉 松永安左エ門(經濟往來) (昭二五、七)

史學(福澤諭吉五十年忌記念特輯) (二十四の二、三) (昭二五、一〇)

福澤先生の滯歐手帳 野村兼太郎

民族學と福澤先生 松本 信廣

ベルリンに於ける我國最初の遣歐使節 今宮 新

福澤諭吉の西洋事情 間崎 万里

福澤先生の革命及び戰爭觀 田畑 忍

草創時代の幼稚舎 吉田小五郎

和蘭事始と蘭學事始 富田 正文

—(福澤家所藏の一寫本について)—

自由民權運動に關する一考察(一) 昆野 和七

(黎明期に於ける福澤諭吉上)

松平春嶽の會議政治思想 河北 展生

(福澤諭吉との交渉が示唆するもの)

福澤諭吉關係文献總目錄 昆野 和七

(餘白録)

福澤所藏の「英清辭書」 (昆野)

福澤諭吉書翰後藤象次郎宛 (河北)

福澤家寄贈福澤新資料總點數 (昆野)

福澤第二回渡米日記 (河北)

福澤諭吉書翰長與專齋宛 (富田)